

家族・地域社会

2019 年本試

問 6 近代以降の日本における家族や結婚のあり方についての記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 高度経済成長期以前の日本では，親子だけでなく，祖父母や親族と一緒に暮らす大家族(拡大家族)が一般的な家族形態であった。
- ② 高度経済成長期以降の日本では，核家族が主要な家族形態として定着し，全世帯に占める核家族の割合は増加の一途をたどってきた。
- ③ 現在の日本では，事実婚(非法律婚)による夫婦や子をもたない共働き夫婦など，夫婦の形態が多様化する一方，結婚しない人も増えている。
- ④ 現在の日本で，学業を終えて就職した後も結婚せず，親に依存して同居を続ける人々は，パラサイト・シングルと呼ばれている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 6	6	①②	3

※大学入試センターの出題ミスで正解は2つに。

2018 年本試

問 1 次の文章は，社会における利害の結び付きについての説明である。文章中の  ～  に入れる記述を **ア**～**カ**から選び，その組合せとして最も適当なものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。

人間の諸活動がグローバル化した現代では，遠い他者の利害も自己の利害と深く関係している。例えば，市場経済のグローバル化により， 。また，世界の飢餓や貧困などを救済することは，  ので，世界全体の利益になると考えられている。さらに，差別的扱いを受けてきた人々の救済が，社会全体を利することもある。例えば，性別役割分担を ，不平等によって不利益を被る人たちを救うだけでなく，男女共同参画社会を促進し，社会全体の活性化を促すだろう。

- ア** 先進国の経済が発展途上国の経済発展に寄与し，経済格差が縮小した
- イ** 一国の経済不安が，世界全体に大きく影響するようになった
- ウ** 新自由主義を推進し，世界経済を発展させる
- エ** 人類の福祉を向上させ，国際平和につながる
- オ** 社会的・文化的性差に依拠するものとして問い直すことは
- カ** 生物学的性差に依拠するものとして再評価することは

- ① a—ア      b—ウ      c—オ
- ② a—ア      b—ウ      c—カ
- ③ a—ア      b—エ      c—オ
- ④ a—ア      b—エ      c—カ
- ⑤ a—イ      b—ウ      c—オ
- ⑥ a—イ      b—ウ      c—カ
- ⑦ a—イ      b—エ      c—オ
- ⑧ a—イ      b—エ      c—カ

問 5 現代日本の介護問題や，それに対する取組みについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 現代では少子化や単身世帯の増加によって家族の<sup>きずな</sup>絆や結び付きが弱まってきたため、家族内での介護を支援し、その結び付きを再び強化する制度として、介護保険制度が導入された。
- ② 近年、女性の社会進出が進んでいるが、夫は仕事に専念し妻は育児や介護に専念したいという家庭も多いため、そのような家庭を支援するために、育児・介護休業法が制定された。
- ③ 高齢化と核家族化が進み、高齢者の単身世帯のさらなる増加が予想される現代では、社会全体で介護を担う公的制度が必要であるが、地域社会の自発的活動による介護支援も注目されている。
- ④ 結婚のあり方が大きく変わり出生率が低下した現代では、少子化が大きな問題であるが、高齢者の介護を充実させるという点では、育児に対する家族と社会の負担を減らす少子化は望ましいとされている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第1問	問1	1	⑦	3
第1問	問5	5	③	3

2018 年追試

問 3 福祉についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 

3
---

- ① 近年，健康に重要な価値をおく福祉社会では，健康を害する悪習慣を排除していこうとしたり，そのような害を被らない権利があるとしたりする，リプロダクティブ・ヘルス(ライツ)の考え方が広まっている。
- ② 近年，高齢者や障害者も含めて誰もがありのままの姿で健康に生活できる社会を目指したり，そのような生活を送る権利があるとしたりする，リプロダクティブ・ヘルス(ライツ)の考え方が広まっている。
- ③ 近年，私たちが快適に心地よく過ごすことができる生活環境であるセーフティネットのあり方に関心が集まっているが，それには都市や自然環境における景観や利便性だけでなく，子どもに安心を与える家族なども含まれる。
- ④ 近年，事故や災害の被害者や社会的・経済的弱者などを救済するセーフティネットのあり方に関心が集まっているが，それには保険制度だけでなく，地域ネットワークなどを活用して社会で援助する仕組みも含まれる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 3	3	④	3

2017 年追試

問 1 現代日本における家族についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 高度経済成長期以来，都市部では，夫婦と未婚の子どもだけで形成される核家族が増加したが，今日ではさらに家族形態も多様化し，子どもをもたない共働き夫婦，いわゆるステップ・ファミリーが現れている。
- ② 従来，子どもの養育や老人の介護などの役割を担ってきたのは家族であったが，今日では少子高齢化などにより，その機能集団としての役割をコミュニティなどの外部集団へと <sup>ひろ</sup> 拡げた，いわゆる拡大家族化が進んでいる。
- ③ 家族の規模が縮小するにつれて，育児ノイローゼやDVなど，閉じた家族のなかで起きる問題も深刻化している。これらの問題を解決するには，立法や行政による支援とともに，家族のあり方の見直しが必要とされる。
- ④ 女性の社会進出や非婚化・晩婚化が進むにつれて，合計特殊出生率の低下が問題とされている。この問題を解決するには，様々な子育て支援制度の充実とともに，性別役割分担を見直すノーマライゼーションが必要とされる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 1	1	③	3

2015 年本試

問 6 現代日本の社会問題についての記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 

6
---

- ① 延命治療技術が進歩するなかで，人が人生の最期まで人間らしい尊厳をもって生きることを保障するために，末期患者に対して身体的・精神的サポートを行うホスピスの充実が求められている。
- ② 目先の利益に <sup>とら</sup> 囚われた開発により環境破壊が進むなかで，将来世代の生存可能性を確保するために，未来に生きる人々への責任を重視する世代間倫理の確立が求められている。
- ③ 地域社会の役割が見直されるなかで，高齢者や障害者が社会参加し充実した生活を送るために，公的支援のみならず，ボランティアやNPO活動の重要性が高まっている。
- ④ 地域コミュニティが衰退し，拡大家族が増加するなかで，閉鎖的な家族内での暴力や虐待が問題視されるようになり，公的機関など外部からの介入や援助の必要性が高まっている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 6	6	④	3

2015 年追試

問 1 支援をめぐる日本の現状についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 家事や育児を支援する仕組みが社会的に整備されているにもかかわらず，結婚や出産を経ても働き続ける女性の比率は減少してきている。
- ② 高齢者の介護を社会全体で支えていくため，2000 年から介護保険制度が施行されたが，さらなる支援体制の整備が必要とされている。
- ③ 身体的・精神的障壁を取り除こうとする考え方は，イニシエーションと呼ばれ，誰もが暮らしやすい社会を構築するための理念となっている。
- ④ 高齢社会を迎えた日本では，若者の就業を支援し，その機会を確保する観点から，高齢者の再雇用を抑制するような社会的取組が求められている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 1	1	②	2

2014 年追試

問 3 現代の日本社会についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 

3
---

- ① 使用済み製品を回収して再利用するリサイクルの促進などを通して、限りある資源を活用する持続可能な循環型社会への転換が求められている。
- ② 核家族化が進んだ高度経済成長期を経て、少子高齢社会を迎えた現在、家族と同居しない単独世帯が増加している。
- ③ 高齢者や障害者が社会参加する際に障壁となるものを取り除き、バリアフリーを実現する街づくりが地域社会で求められている。
- ④ 社会のなかで男女の実質的な平等を実現するため、雇用者には女性を一定の割合で雇用することが法で義務づけられている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 3	3	④	3



2013 年本試

問 4 現在の日本社会において家族を取り巻く状況についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 婚姻率の低下により未婚者が増え、成人後も両親との同居を続ける人が多くなっており、一人で住んでいる人の割合は低下している。
- ② 育児・介護休業法が制定されたため、労働者は男女を問わず、法的には育児や介護のための休業を取得できるようになった。
- ③ 結婚後も旧姓を名乗ることを望む女性が増えたため、夫婦同姓か別姓かを選ぶことのできる選択制が導入された。
- ④ 介護保険制度など、高齢者の介護を社会全体で担う体制が整備されてきたため、高齢者の単独世帯数は減少している。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 4	4	②	2

2012 年追試

問 3 遠くの人たちが苦しんでいることをメディアで知って、実際に自分の意志で助けに行った人たちはたくさんいる。そうした人々の社会的活動について説明した次の文中の空欄 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

1995 年に起きた阪神・淡路大震災では、全国から多くの人々が被災地での救助・救援に駆けつけ、 が注目されるようになった。こうした新しい結び付きは、市民の参加による公益的な活動を目的とする  の取組を促進し、後の大規模災害において市民による自発的な救助活動が迅速かつ効果的に行われる素地となった。

- ① a エンパワーメント      b UNHCR
- ② a 民際化                      b NPO
- ③ a ボランティア活動        b ODA
- ④ a 民際化                      b UNHCR
- ⑤ a エンパワーメント        b ODA
- ⑥ a ボランティア活動        b NPO

問 4 現代日本の地域社会の状況に関する記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 核家族化によって親族間の相互扶助機能が低下しており、家庭内部で解決できない問題について、より広い助け合いの必要性が高まっている。
- ② 高齢化が進むとともに、高齢者が高齢者を介護する老老介護の問題が深刻化し、地域社会で介護を支援する必要性が高まっている。
- ③ 男女の性別役割分業が見直されるようになり、家事や育児を男女間で分担することや、保育所などの社会サービスの充実が求められている。
- ④ 夫婦間、親子間における暴力が注目されるなか、家族の問題は家族で解決できるように、公的機関による干渉の自制が求められている。

問7 移動や生活の妨げとなる障壁を取り除くことはバリアフリー化と呼ばれている。それをさらに進め、障害の有無、年齢、性別にかかわらず、すべての人が同じ市民として生きていけるように環境を整備して、すべての人の共生を目指す取組がある。そうした取組を表す語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 37

① ユビキタス

② アファーマティブ・アクション

③ ボーダレス化

④ ノーマライゼーション

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問3	33	⑥	2
第5問	問4	34	④	2
第5問	問7	37	④	2

2010 年本試

問 3 日本では今日，社会保障制度の見直しが議論されている。その背景に関する記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 家族形態の多様化や女性の社会進出に伴い，家族機能の外部化が進んだ。
- ② 医療技術の発達に伴う死亡率の低下により，老年人口の比率が高まった。
- ③ 都市化や核家族化の進展により，地域社会の相互扶助機能が強まった。
- ④ 高度経済成長期を境にして，出生率が低下し，少子化が急速に進んだ。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 3	33	③	3

問 1 今日、バリアフリーを一步進めた考え方として、ユニバーサルデザインが提唱されている。図のように、駅のホームに降りるために、階段脇に取り付けられた車いす専用の昇降機ではなく、エレベーターを設置することなどがその一例である。その背景にある考えとして**適当でないもの**を、下の①～④のうちから一つ選べ。 31

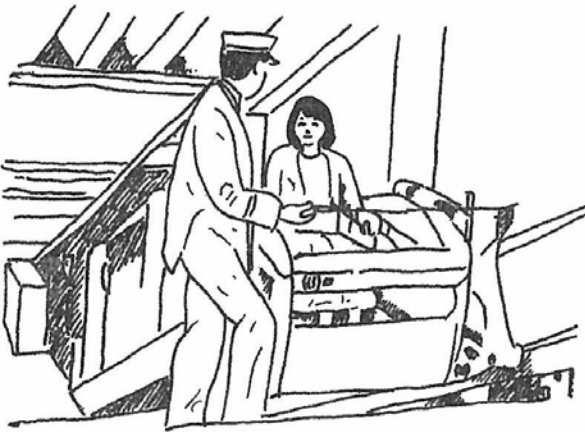


図 車いす用昇降機

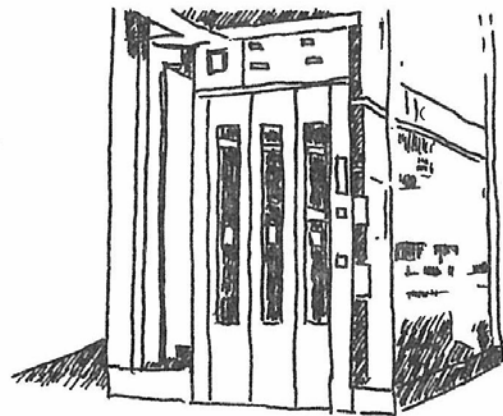


図 エレベーター

- ① 従来、健常者を念頭に社会環境をデザインしてきたことは、高齢者や障害者の利用を想定していなかった点で、かれらに対する人権侵害の可能性もある。
- ② 社会環境に、高齢者や障害者専用の特別な改変を施すことは、かえって周囲の人々の視線を集めることとなり、差別を助長することにもなりかねない。
- ③ 高齢者や障害者が交通機関や公共施設を利用できないことは、慈善の観点から問題があるので、かれらも利用できる社会環境をデザインすべきである。
- ④ 初めから高齢者や障害者も利用できるように社会環境をデザインすることは、かれらに社会参加を促し、かれらの生活の可能性を広げることにつながる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問1	31	③	3

2009 年本試

問 6 現在の日本社会における家族のあり方に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① ライフスタイルに関する考え方が多様化し、家族構成員同士が性別にとらわれず世話し合う傾向が高まったので、一世帯あたりの家族構成員数は増加傾向にある。
- ② 「人は女に生まれえない。女になるのである」という言葉に表れている意識が広く浸透し反省を促したので、夫も妻と同じように家事・育児を担うようになっている。
- ③ 男性に比べ女性は、結婚や育児を理由に仕事を辞める者の割合が依然高いが、子が成長するにつれて、パートタイム労働者として再就業する者が多い。
- ④ 男女共同参画社会基本法の施行以降、女性の労働者が増加した結果、夫婦どちらかの親と同居し、親に家事などを分担してもらう傾向が高まっている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 6	36	③	3

**第5問** 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

今日、女性が社会へ進出し、家事や介護の性別役割分業も見直されている。しかし、女性がいまだ **a** 性差を理由として不利な立場におかれている場合も少なくない。女性の権利が保障されるためには、これまで自明なものとして受容されてきた男女についての考え方が今一度問い直されるとともに、なお一層の **b** 社会的な施策や支援が必要だろう。

**問1** 下線部 **a**に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① フェミニズムは、女性の権利拡張を進めるだけでなく、ジェンダーに基づく差別や偏見を問い直している。
- ② カーソンは『沈黙の春』において、女性が男性とは異なる倫理観に基づいて行動していることを明らかにした。
- ③ プラグマティズムは、実際の行動に結びついた知性を重視する立場から、女性解放運動を積極的に推進する原動力となった。
- ④ ルソーは『人間不平等起源論』を著し、女性が社会的につくられていくものであることを明らかにした。

**問2** 下線部 **b**に関して、現在日本で行われている法的な取組の記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 昇進の条件として転勤を要求するなど、女性が受け入れにくい要件を課すことは、格差を生む結果になるので、注意が必要である。
- ② 介護休業や育児休業の取得は、職業生活と家庭生活の両立のために不可欠であり、パートタイム労働でも認められている。
- ③ 男性が多数であることから生じる格差を解消するために、一定期間、企業には女性の管理職への優先的な登用が義務づけられている。
- ④ 配偶者からの暴力を防止し被害者を保護するために、暴力被害者を発見し



た人には配偶者相談支援センターへの通報が求められている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問1	31	①	2
第5問	問2	32	③	3

2007 年追試

問 2 「ハラスメント」の特徴として**適当でないもの**を、次の①～⑤のうちから一つ  
選べ。

- ① 「する」側と「される」側の間に力関係の不均衡がある。
- ② 「される」側は「する」側に抵抗できない。
- ③ 「する」側は「される」側から抵抗されると思っていないことがある。
- ④ 一度限りの場合もあるが、長期にわたって繰り返されることがある。
- ⑤ 原因は「する」側にはなく、「される」側にある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 2	2	⑤	2

2006 年本試

問 1 高度経済成長期以降，家族の形態に現れた変化の一つに，核家族化がある。

核家族化(あるいは核家族)を説明する記述として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 核家族とは，国家を構成する核となる基本的な家族という意味であり，一組の夫婦とその子どものみから成る。
- ② 日本の核家族化は 1960 年代から 80 年代にかけて進行したが，その後，核家族世帯数の比率は急激に減少した。
- ③ 日本の急激な核家族化には，産業構造の変化により若年層が職を求め都市部へ集中したことなどが背景にある。
- ④ 日本の核家族はそれ以前の家族が担っていた社会的機能をそのまま保持しており，そのため主婦の負担が重い。

問 2 高齢化の進展と関連の深い事柄についての説明として最も適切なものを，次の

①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 「NPO(非営利民間組織)」：営利を追求せず国家の枠にも縛られずに，高齢者福祉など様々な課題に取り組む組織のこと。日本にはNPOを支援する法律がなく，速やかな制定が求められている。
- ② 「ノーマライゼーション」：高齢者や障害をもつ人々も，そうでない人々も，共に通常の生活ができるようにしていくこと。その上での障壁となる要素を取り除くことが，バリアフリーと呼ばれる。
- ③ 「ホームヘルパー」：高齢者や障害をもつ人々が在宅で暮らしている場合，その自宅を訪れて介護のサービスを提供する人のこと。経験を活かしてもらうという意味で，高齢者が携わるのが基本である。
- ④ 「生涯学習」：あらかじめ複数用意された，全生涯にわたる長期的なプログラムの中から，自身の興味や関心に基づいて選択し，取り組む学習のこと。高齢化の進展に伴い，その重要性が指摘されている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	問1	31	③	3
第5問	問2	32	②	3

2005 年本試

問 3 性別役割分担が性による差別や抑圧をもたらすものになっているという認識から、その是正を強く求める議論の例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 分業は社会的効率を高める方法であり、効率重視の現代社会では、性別による分業も効率性の観点から再編成すべきである。
- ② 個人の選択の余地なく与えられる性別役割は、しばしば個人の人生の可能性に対する重大な侵害になるので解消すべきである。
- ③ これまで男性優位に作られていた性別役割分担を、女性優位のあり方へと積極的に転換すべきである。
- ④ 自然的適性が明確である子育てなどの少数の事例以外、ただ偏見に基づく多くの性別役割分担を撤廃すべきである。

問 8 現在の日本においても男女の差異の処遇に関して制度的に様々な規定がある。それについての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

36

- ① 民法の規定によれば、親の同意のもとに結婚が可能とされる年齢の下限は、男女共に 18 歳である。
- ② 日本の各種議会の議員の数については、両性の比率の格差が 2 : 1 を超えないように定められている。
- ③ 男女雇用機会均等法は、雇用における両性の平等な処遇を規定し、実効性のあるように罰則を設けている。
- ④ 育児・介護休業法は、家庭責任を担う役割を男女両方に認め、男性にも女性にも休暇取得の権利を認めている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問3	30	②	3
第4問	問8	36	④	3

2003 年本試

問 5 文章中の 33 に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

女性の場合は、結婚や出産を願う気持ちと、結婚すると性別役割分業によって家事・育児の責任と負担が増えて仕事や余暇の時間を失うかもしれないという気持ちとの間で心が揺れることもある。このような葛藤のために、結婚に踏み切りにくい面があることは否定できない。近年の 33 傾向は、結婚後も同様の葛藤が続くことを示唆している。

- |           |        |
|-----------|--------|
| ① 共働きの増加  | ② 少子化  |
| ③ 夫婦別姓の増加 | ④ 核家族化 |

問 9 性別役割分業に含まれる問題点とその対応策の説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① 企業で育児休業や介護休業を取るのは主に女性である。男女が平等に育児や介護にあたるためには、性別役割分業に関する従来の社会通念を超えない範囲で、仕事と家庭を両立させやすい制度を導入する必要がある。
- ② 多くの親は、息子には生活力のある行動的な人、娘には情緒豊かで温かい家庭人になることを期待する。親は、このような性差にとらわれた期待が子どもの才能や個性の発揮を阻害しかねないことを自覚する必要がある。
- ③ 多くの職場で女性の採用や管理職への登用があまり進んでいない。男女共同参画社会の形成理念に基づき、女性の働きやすい職場への環境整備および女性の採用・登用を推進する必要がある。
- ④ マスメディアには男女の役割に関するステレオタイプ化した描写や表現が多く、性別役割分業の再生産が懸念される。マスメディアは社会的責任を認識し、性別役割が固定化されない描写や表現をする必要がある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問5	33	②	2
第4問	問9	37	①	3



2002 年本試

問 1 文章中の  ・  に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

労働基準法の改正や  の制定もあって、労働時間の短縮や女性の職場進出が進展した。また、就労形態が多様化し、働く人にとっての選択肢も増えてきた。産業の重心が  に移り、知的労働やサービス産業の比重が増加するとともに、フレックス・タイム（自由勤務時間制）といった新たな就労形態も増えている。

- |    |   |             |           |
|----|---|-------------|-----------|
| 29 | { | ① 男女雇用機会均等法 | ② 男女均等待遇法 |
|    |   | ③ 男女雇用平等法   | ④ 男女同等賃金法 |
| 30 | { | ① 軽工業       | ② 製造業     |
|    |   | ③ 第一次産業     | ④ 第三次産業   |

問 2 経済発展に伴う問題についての記述として **適当でないもの** を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 現代の経済は消費者の欲望を駆り立てることにより発展してきたが、環境破壊や資源の枯渇は、経済成長には限界があることを示している。
- ② 南北格差の拡大に伴い、発展途上国への経済援助が必要となっているが、近年の先進国の人口増加は、このような援助を困難にしている。
- ③ 経済発展に伴う都市化の進展により、地域社会のきずなが損なわれ、道徳心の低下や福祉コストの増大といった問題が指摘されている。
- ④ 経済のグローバル化に伴い、投機的取引が拡大するなど、金融市場の不安定要素が増加し、その管理はますます困難になっている。

問 3 現代社会の問題についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 携帯電話やインターネットなどの通信手段の発達により，直接的で対面的な出会いはもはや不必要なものとなった。
- ② 都市化に伴う大衆社会の形成は，地位や財産にとらわれない個性豊かで自立的な人間をますます多く生み出している。
- ③ 高齢化社会においては，高齢者の公的年金や医療福祉を充実させるため，若い世代は以前より多くの人数で一人の高齢者を支えざるをえなくなった。
- ④ 国際化が進展する今日，ボーダレス化が様々な領域で起こっている一方で，民族的アイデンティティを主張する動きも世界各地に見られる。

問4 ボランティア活動に関する記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 福祉活動や災害援助活動だけではなく，無償で地域の子どもたちにスポーツを教えることも，ボランティア活動と見なすことができる。
- ② ボランティア活動を促進するために，特定非営利活動促進法（NPO法）が施行されたが，コーディネーターの不足など多くの課題がある。
- ③ 高齢化社会の到来により，参加型福祉社会の構築を目指すボランティア活動が展開され，公的な福祉活動全体は次第に減少の方向に向かっている。
- ④ 発展途上国に赴き，農業や技術の指導を行う青年海外協力隊の活動もボランティア活動と見なすことができる。

問6 性別役割分業の見直しをめぐる記述として最も**適当なもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 女性は，結婚や子育てを理由に職場で差別的な待遇を受けることが多かった。今後は，子育てを男女で分担していくだけではなく，社会もまたそれを支援する措置をとり，女性が働きやすい環境をさらに整備する必要がある。
- ② 女性の社会進出に伴って，家事を代行する企業が増加しつつあるが，そこ

には家族を解体させる危険がある。そのため、男女がそれぞれ生来もっている役割に専念することで、家族を守る必要がある。

- ③ これまで仕事に忙殺されてきた男性もまた家庭生活に参加しやすい環境を整備していかななくてはならない。しかし、育児・介護休業法が男性に育児休暇を認めていないなど、不備も多く、さらに法を整備する必要がある。
- ④ 日本では女性の就業率は、結婚後低下するが、育児を終えた後、パート就労を中心に再び上昇するというパターン（M字型就労）をとる。女性をとりまくこのような雇用構造は今後も維持していく必要がある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問1	29	①	2
第4問	問1	30	④	2
第4問	問2	31	②	3
第4問	問3	32	④	3
第4問	問4	33	③	3
第4問	問6	35	①	3

2002年追試

問8 現代の日本における家族を取り巻く状況の変化についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① かつては一般に、子どもは養育期間を終えると通過儀礼を経て地域社会の一員に組み込まれたが、現代では、人々の生き方が多様化したためにいつまでも自分の進路を決定せずにいる青年が増加した。
- ② かつては一般に、家族と地域社会とが生産と教育に携わっていたが、現代では、これらの役割は外部の機関に委ねられる傾向にあるため、家族は主に安らぎの場となり、地域社会の住民どうしの連帯は強まった。
- ③ かつては一般に、娘よりも息子のほうが優遇されていたが、現代では、少なくとも戦後に改正された民法によれば、娘と息子との間で財産相続の権利や親を扶養する義務の面での区別はまったくなくなった。
- ④ かつては一般に、家族は子どくさんであったが、現代では、経済水準の向上と少子化が進むなかで、親の関心が子どもに過度に集中して、子どもの自立が妨げられる事態が起きている。

問5 障害者や高齢者の社会参加を促進する方策についての記述として最も**適当なもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 高齢者が自立した生活を送れるようにするため、リハビリテーション用に敷居しきいや階段を増やす工夫をした住宅が求められている。
- ② 介護保険制度の導入に伴い、在宅介護に代わり専門の施設での介護が推奨され、高齢者が手厚い保護のもとで生活するようになった。
- ③ 障害者や高齢者の権利や主体的行動の尊重という考えから、彼らにも健常者や非高齢者と同じ権利行使の仕方と義務が求められてきている。
- ④ いくつかの都市では、床が低い路面電車やリフトが付いたバスを導入して、障害者や高齢者への配慮がなされた町づくりを試みている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 8	9	②	4
第 4 問	問 5	33	④	3

2001 年追試

問 3 フェミニズムの説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 日常生活の中で女性をいたわり、「レディー・ファースト」の習慣のように、女性を尊重する男性のライフスタイル。
- ② 女性男性を問わず、すべての人間は平等な権利をもった市民として尊重されなくてはならないという市民革命期に固有の思想。
- ③ 一見自明な文化的価値観や社会構造の中に性をめぐる支配が存在していることを明らかにし、性差別の撤廃を求める思想。
- ④ 女性が「産む性」であることを高く評価し、父親らしい強さだけでなく、母親らしい優しさも尊重するライフスタイル。

問 4 女性に限らず、現代の職場が直面する倫理的な問題に関わる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 企業においては、利潤追求のための会社の方針とその企業に属する個人の倫理判断とが対立することもありうるが、企業のために社員が善悪の判断を停止したり、不正を黙認したりしても、個人には責任は生じない。
- ② 労働基準法の女性保護規定に加えて、男女雇用機会均等法などの法的措置が実施されたため、現代では、性別による仕事内容の限定や労働条件・昇進上の差別といった問題は、完全に解決された。
- ③ セクシュアル・ハラスメントとは性的な嫌がらせ行為のことであるが、好意的な意図に基づいて発せられる性的なジョークは、職場の雰囲気や和らげる効果があるので、それには含まれない。
- ④ エイズウイルス（H I V）は、通常の生活の中では他人に感染する可能性はないのに、感染者であることを理由とした退職誘導が行われるならば、それは根拠のない偏見による差別である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問3	29	③	3
第4問	問4	30	④	3

2000 年本試

問 4 現代日本社会における，育児をめぐる家庭生活の傾向を記述した文章として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 自分自身の生活を充実させたいという意識が強まり，従来ほど親が子供を育てることに熱意をもたなくなっている。また，社会の高齢化が進展し，一つの家屋に三世代が同居するケースが大幅に増えた。その結果，親よりも祖父母が子供の面倒を見る傾向が強くなってきた。
- ② 女性の社会進出が進み，従来母親にゆだねられていた育児と女性の就業とが両立できないという問題が生じている。しかし，育児休業等に関する法律の普及や，育児期間と就業期間との重なりを回避する晩婚化などによって，母子の接触の機会はむしろ大きく増加している。
- ③ 離婚や再婚，共働きが増大する中で，家族の形態や，性別役割分担，夫婦同姓制度などが見直されつつある。そうした状況においても，結婚して，少人数ではあれ子供を生みたいという願望自体は相変わらず強く，非婚率の上昇は見られない。
- ④ 従来家族がもっていたさまざまな機能が，企業や学校など外部の機関に吸収され，家庭の役割が専ら子育てのみになる傾向がある。このことが，親子間の必要以上の癒着や，親のストレス増大による幼児虐待といった問題にも関係している。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 5 問	問 4	33	④	3